

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	49	日常的な外出支援 利用者が地域とつながりを持って暮らし続けられるよう、地域の中に個々の楽しみを作っていけるような取り組みもすすめていかれてほしい。思い出の場所やなじみの場所を探って出掛けたり、新たにお気に入りのパン屋さんや喫茶店を探す等、地域の中に楽しめる場所を開拓されてほしい	個別的な外出支援の実施	1.本人意思の確認を行う どこに行きたいか 2.家族への声かけ 面会時、家族交流会等に家族の希望を聞く 3.公用車を利用しての外出 自然に触れ合える場所への外出 4.気分転換での近場への散歩	12 か月	
2	10	運営に関する利用者・家族等意見の反映 ご家族が要望や意見を出しやすいように、働きかけ等についても工夫されてみてはどうだろうか。たとえば、食事について、外出支援について等、ご家族が具体的に考えやすいように配慮してみてはどうだろうか。又、ご家族と一緒に活動したり、又、一緒に勉強するような機会も作りながら、利用者の「あたりまえ」の生活をともに支えていかれてほしい	家族等からの意見の把握 利用者の意見をくみ取り、出来る事からの支援を行う	1.面会時の近況報告と共に家族の意向の把握 2.家族交流会への参加と共に意見交換を行う 3.利用者や家族からの具体的な要望を聞き、出来る所からの支援を行う 4.入居者担当職員は特に家族との交流を図る	12 か月	
3	23	思いや意向の把握 日々の中でも利用者が選んだり決めたりできるような場面作り工夫して、利用者の希望や思い、意向を引き出すアプローチに工夫されてほしい。さらに、利用者一人ひとりのあたりまえの暮らしのあり様を探り、利用者が最後まで自分らしく暮らし続けられるような支援につなげてほしい	思いや意向の把握を行い、実践へと結びつける	1.利用者との関わりを多く持ち、会話の中から希望や要望を聞きだし、実践へと結びつける 食べたい物があれば食べることができるように、行きたい所があれば行くことができるように支援を行う 2.自分の思い通りに出来なかった場合は表情や言葉・行動を把握し、問題点を見つけ、実践に移すことができるかどうか、カンファレンスを行う	12 か月	
4	26	チームでつくる介護計画とモニタリング 利用者の思いや意向に計画をつなげ、利用者個々が意欲や自信を持って暮らし続けられるよう、計画内容についても工夫を重ねていかれてほしい。又、地域資源を活かした計画やご家族も一緒に利用者を支えていけるような計画等にも、工夫されてみてはどうだろうか	利用者・家族の思いの把握を行いプランへとつなげることができる	1.利用者や家族からの具体的な要望を聞き、プランへとつなげる 出来ることからプランへ 2.カンファレンスの中から職員間でのプラン作成を行う 個々の担当者の意見を基に意識統一ができるように申し送りノートの活用を行う	12 か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した 9/17報告予定
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った 11/2家族交流会で報告予定
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った 9/17報告予定
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()